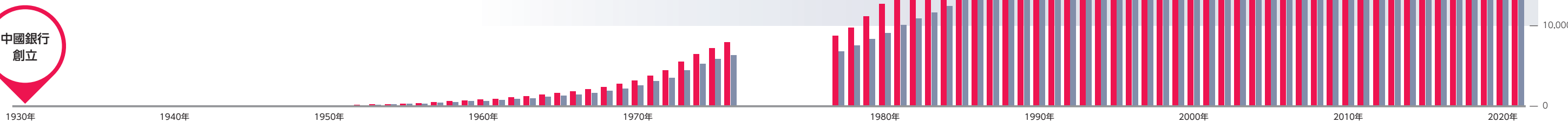
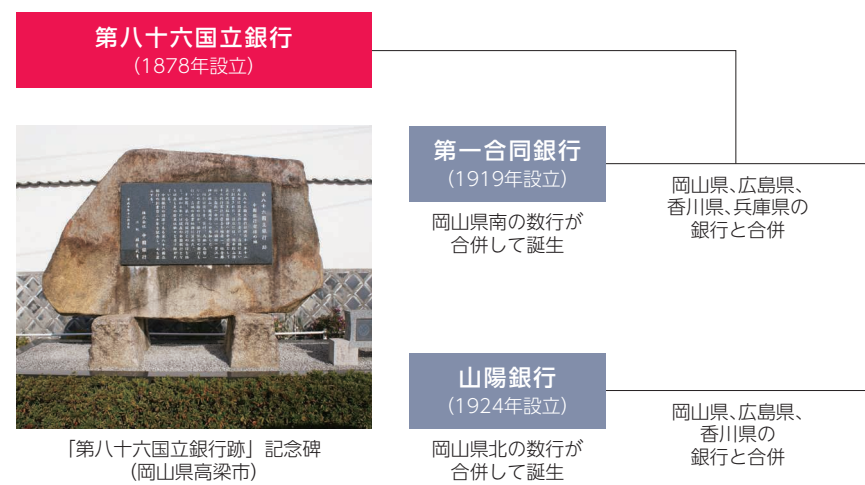


# 中国銀行は、数多くの地域の銀行との合併により誕生しました

当行の淵源は1878年（明治11年）設立の第八十六国立銀行です。  
 昭和初期には世界恐慌の影響により、わが国の経済は衰退の一途をたどり、  
 当行の経営も厳しい時代がありました。日本銀行への借入が大きく膨らみ、経営に行き詰まり  
 かけた時もありました。そのような苦難を乗り越え現在の中国銀行に至ります。  
 「時代背景や経済環境が変わっても、地域のお客さまとの共存共栄が、当行の進むべき道」  
 として、地域の成長が当行の発展につながると考えています。



中国銀行  
創立

- 中国銀行グループの変遷**
- 1930年 (昭和5年) **中国銀行創立**
  - 1979年 (昭和54年) 中銀保証株式会社
  - 1981年 (昭和56年) 株式会社CBS
  - 1982年 (昭和57年) 中銀リース株式会社
  - 1987年 (昭和62年) 中銀カード株式会社
  - 1987年 (昭和62年) 中銀アセットマネジメント株式会社
  - 2000年 (平成12年) 中銀事務センター株式会社
  - 2010年 (平成22年) 中銀証券株式会社 (前身の津山証券株式会社は1944年 (昭和19年) 設立)
  - 2020年 (令和2年) 株式会社せとのお

- 1985年 (昭和60年)
  - 大阪証券取引所第二部に上場
  - 広島証券取引所に上場
- 1987年 (昭和62年)
  - 大阪証券取引所第一部へ指定替え
  - 東京証券取引所第一部に上場
- 1990年 (平成2年)
  - CI(Corporate Identity)導入、中国銀行に商号変更
- 1992年 (平成4年)
  - 現在の本店ビル完成
- 1994年 (平成6年)
  - 香港支店開設
- 2006年 (平成18年)
  - コンサルティングプラザ開設
- 2008年 (平成20年)
  - ちゅうぎんビジネスセンター開設
- 2015年 (平成27年)
  - TSUBASAアライアンス発足 (当行、千葉銀行、第四銀行 (現在 第四北越銀行))
- 2020年 (令和2年)
  - デジタルイノベーション推進センター設置
  - 当行創立90周年

- 世の中の動き**
- 1930年 (昭和5年) 昭和恐慌
  - 1945年 (昭和20年) 太平洋戦争終戦
  - 1960年 (昭和35年) カラーテレビ本放送開始
  - 1964年 (昭和39年) 東京オリンピック開催
  - 1972年 (昭和47年) 山陽新幹線、新大阪・岡山間開通
  - 1973年 (昭和48年) オイルショック
  - 1988年 (昭和63年) 瀬戸大橋開通
  - 1989年 (平成元年) 日経平均株価が史上最高値を記録
  - 1991年 (平成3年) バブル崩壊
  - 1995年 (平成7年) 阪神・淡路大震災
  - 1997年 (平成9年) アジア通貨危機
  - 2005年 (平成17年) ペイオフ解禁
  - 2008年 (平成20年) リーマンショック
  - 2009年 (平成21年) 岡山市、政令指定都市に移行
  - 2011年 (平成23年) 東日本大震災
  - 2018年 (平成30年) 西日本豪雨災害
  - 2019年 (令和元年) 消費税率10%へ引き上げ
  - 2020年 (令和2年) 新型コロナウイルス感染拡大

中国銀行グループについて

中国銀行グループの強み

成長戦略

成長を支える基盤

財務セクション/企業情報